

BMW × iSWEEP = Brake Tuning

走行性能を追求するモデルが数多い
BMWだからこそ確信できる
iSWEEPブレーキパッドの制動性能

iSWEEP アイスウィープ Brake Pad

BMWへの適合モデルが発表されてからの反響が非常に大きい「iSWEEP」ブレーキパッド。
スポーツモデルだけにとどまらず、街乗りメインのモデルにまで幅広く安心して使える
高性能ブレーキパッドとしても注目を集めている。
環境にも優しい低ダストタイプも人気が高い。

■ イシカワエンジニアリング
tel.045-442-8777
<https://www.ishikawa-engineering.com>

Photo: 古閑章郎、with photo
Text: 塩見 誠

純正パッドの汚れを 解決しながら効きも追求

クルマの使い方は人それぞれで、乗り方も人それぞれ。高速道路を走るのがメインという人もいれば、街中でしか乗らないという人もいる。純正のブレーキパッドは、そうしたさまざまな使い方をユーザーがおおむね満足できるようにつくられているのだが、これはすなわち、自分のクルマの使い方、乗り方にマッチしたブレーキパッドがあれば、もっと運転が楽しくなるという話でもある。その上でBMWの純正ブレーキパッドの話をする、かならず出てくるのが「すぐにホイールが汚れる」という問題だ。これは純正ブレーキパッドの、ブレーキローターへの攻撃性が高いためにパッドから出るダストだけではなく、ローターの鉄粉も同時にまき散らしてしまっていることが原因だ。そのことがわかっているオーナーたちは、新車を購入したらまずは低ダストパッドに交換している。これも使い方によりマッチしたパッドを選ぶということの意味する現象なのだ。

フォルクスワーゲンやミニのオリジナルアイテムで知られているiSWEEPは、次ページにもあるように用途にマッチしたブレーキパッドを開発・販売している。今回紹介



するのはそのBMW用の低ダストパッド、「IS1500」だ。低ダストとは言っても絶対的な制動力は純正パッドと変わらず、適正なローター温度域もほぼ同じなので高速道路など高速域から一気に減速しなければならぬときにも安心だ。

もちろん峠道を走ることが多いとか、サーキット走行も楽しんでいる、というオーナーには、それにマッチした「IS2000」や「IS2500」というアイテムが用意されているので、そちらを選べば良い。このことからわかるように、ブレーキパッドを選ぶ際には、自身がどういうクルマの使い方、乗り方をしているのかを理解することが大事なのだ。

そして、アメリカでの承認を待っているところ。より環境性能を高めつつ、しかしあくまで低ダストで制動力を確保するためのこの摩擦材、日本では今のところカップパーフリーという規制はないが、こうして一歩先をいく開発をしていくことで、技術的な進化が続いている。もっと走りを楽しみたい、もっと自分の思い通りの減速・荷重移動・姿勢変化をしたという、違いのわかるオーナーにこそおすすめしたいパッドだ。

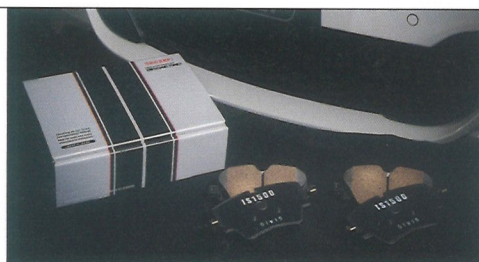
ダストも少なくストリートで一押し IS1500

>>> spec.

- 用途 市街地走行
- 材質 ノンスチール材
- 適正温度域 常温～450℃
- 平均摩擦係数
常温～400℃ → 0.35～0.38
400～700℃ → 0.28～0.30

>>> 特徴

- ホイール汚れが純正パッドより少ない
- 純正パッドよりブレーキ鳴きが少ない
- 市街地走行条件では純正比で効力が約10～20%UP
- 純正パッドの唐突な効きを抑え、効きとコントロール性を両立
- 冬場等の冷間時でも安定した効力を発揮



ローター攻撃性が低くダスト量自体も少ないので鳴きにくく汚れにくいIS1500。踏力に応じてリニアに制動力が立ち上がるので、減速の調整もしやすい。